

公表

事業所における自己評価結果 令和 6 年度 放課後等デイサービス

事業所名		児童通所支援事業所 あいらいく				公表日		2025 年 2 月 20 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・デイルームの広さは適切であると思う。 ・殺風景に見えるが、何も置いていないことで広さを確保し、ボール遊びなど身体を使う遊びもできるようにしていること。	・個室の広さや数は少し足りないように感じる。 ・定員いっぱい或いはそれに近い員数の場合、目つ良く動く児童の場合、また、体格の大きな児童が多ければ多いほど狭く感じたりリスクが高いと感じたりすることがある。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・活動準備や流れ等を事前に共有していること。	・その日の利用児童によっては多い日もあれば、不足していることもある。また、状況によってもあるが、看護職が不足しているようにも感じる。 ・利用人数が8~9人の時は職員人数が6~7人は必要だと思う。送迎に出ていて実際は活動等に従事している職員は2~3人なので、少ないと感じる時もある。逆に利用者が2~3人の時は、多く感じる。 ・その日の利用人数や職員配置数による。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		・トイレが狭い。トイレ介助が必要な利用児が大きくなったら介助がしづらいと思う。 ・車いすを使用している児童やバランス感覚がまだ不安定な児童もいるため、外階段が危険だと感じる。 ・事業所が2階にあるため、外階段を利用するが老朽化していて、耐震に不安があること、雨の時などは滑りやすいので気をつけている。送迎時などで体幹の練習になるかもしれないが、車椅子を使用する児童にスロープはなく、出入り口も段差あり、室内はクッション代わりにプレイマットを敷いている為段差がある。ボール遊びなど激しい運動をするとプレイマットがズレて危険等ある。マット等クッション性のある物は欲しいので、動かないように出来ないものか？ ・外階段、トイレ			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・清掃、消毒を常に行うこと。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・以前は玩具等の荷物置きになっていたが、全部整理して医療関係、お着替え、個別指導、落ち着く場として利用できるようにしたこと。	・医療ケア、訓練などで部屋が不足している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・日報で情報共有ができている。 ・現時点では午前中に時間があるので、ミーティング、日報等で情報共有し確認していること。	・話し合いをする際にパート職員は勤務の都合上、参加できないこともある。 ・もっと職員間のコミュニケーションも必要だと感じる。 ・職員個々による差が大きい。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・現時点では午前中に時間があるので、その時に話し合いを行っている。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・現時点では午前中に時間があるので、その時に話し合いを行ったり、個人的にも話をする。 ・不定期でミーティングを行っている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・いろいろな研修を提示してもらっている。	・受講した研修をいかんにして活かしていくか。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・毎月、どんな活動をするのかプリントをお渡しすること。HUGにも記載していること。	・公表はまだなされていない。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・職員間で意見を出し合い、まとめていること。				

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・職員間で意見を出し合い、まとめていること。	・職員によって共通理解の程度の差が大きい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・職員間で意見を出し合い、まとめていること。	・職員によって共通理解の程度の差が大きい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・HUGにて、連絡帳、日報に行動、気になるk+を記載して職員が確認していくこと。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・HUGにて、連絡帳、日報に行動、気になるk+を記載して職員が確認していくこと。	・支援に必要な項目に設定されていると思うが、言葉？文章？が難しいところがあり、理解するのに時間を要するところがある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・みんなで考えて分担している。準備も担当でなくでも進んで手伝うこと。	・職員によって関与の程度が大きく異なる。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・以前の活動状況と見比べて、内容が重ならないようにすること。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・職員間で意見を出し合い、まとめていること。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・午後から勤務の職員に対して、午前中から勤務している職員より活動などの内容の説明がちゃんとある。 ・活動担当者が主として、どのように支援していけばいいのか指示していくこと。	・必ずではないのと、職員によって関与の程度が大きく異なる。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	・特に気になったことは当日に話す、基本送迎に行って終了時あんまりギリギリや、勤務終了している職員がいるため、翌日に共有していること。 ・必ずではないが、日報等でその日に合ったことの確認ができるようになっている。	・必ずではないのと、職員によって関与の程度が大きく異なる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日報を付けて、共有していること。 ・職員個々によって差が大きい。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・職員間で意見を出し合い、まとめていること。	
関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・職員間で意見を出し合い、まとめていること。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・職員間で意見を出し合い、まとめていること。 ・職員個々によって差が大きい。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・主として、児発管が出席しているが、あいにくで担当者会議をする時は補助として他職員が参加している。今後は、職員も1人でできる様にしていく。	・出席、事前の準備に多くの（すべての）職員が携われるようになることが望まれる。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			・もっと、連携していきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校の連絡は、基本保護者としている。	・学校に直接聞くのは学校が嫌がる所が多いのが現状。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			・疑問が出れば連絡していく体制を取りたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		・まだ対象児童がいないため。 ・まだ、学校を卒業した児童がいないので、今後はしていく。 ・これまでそのような例はない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			・常に連携を取っていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	・他事業所との交流会や社会科見学などを設けて交流の場を増やすことができていると思う。	・地域のイベント事などに行ければ良い経験になるのだが、利用日にイベントがあれば計画するが今の所ないので難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			・不明

保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・HUGや、送迎時に話をする事。	・特に気になる事は、電話や話し合いの場を設けていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・家族会を行ったが、もう少し回数を増やす。ただ、参加する家族は決まってくる。参加して欲しい家族は参加しないので…どの手段でも連絡が取れる様にしておく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明を行う。分からない時には都度説明していく。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・モニタリングや、日々の家族とのコミュニケーション、悩み等ある時は別で確認して作成していく。	・ただ、こどもの意向は難しいので、支援員が見て困り事をみつけ、家族の方と話し合っ て考えていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			・悩みがあれば、できたら、直ぐに対応できる様な環境にする。日頃から話しやすい関係を築いていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		・今年度は1回、家族会を開催することができた。	・必要だと思いがなされていない。きょうだいの交流も必要だと思うが、まず家族がどの様に伝えているのか確認してからなのか？
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			・口頭で伝えているが、書面やポスターもあった方が良いのでわないか。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・HUGやインスタを利用している事。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報の取り扱いの書類をかいてもらいファイルし、写真等使う時は隠して使用している事。	
非常時等の対応	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・カードや、手話、指文字、紙に書く等工夫している事。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・ビル内の他店舗との交流はある。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			・マニュアルの確認が全部できていない。早急に確認するべき。訓練も子供と一緒にするべき。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			・訓練はできてないと思う ・定期的に行う事が大切。 ・話し合いは行えているが訓練の機会がない
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・看護師を中心に把握し、緊急の児童の分は目に付くところに対応の仕方を書き張っている。	・職員個々によって差が大きい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・看護師を中心に把握し、ファイルにまとめている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			・計画はできているが訓練が行えていない
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・起きた事を書面化し、職員に共有してサインをもらっている。	・実効的な対策を検討できていないものもまだ多い。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・研修にいく、ミーティングなどで再確認する。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			・プレイルームの施設に関する説明をまだできていない。